

口は健康のもと Vol.88

使わなくなった入れ歯 形を修正して再利用

入れ歯のリサイクルといっても、マスコミで紹介されていたような「古い、使っていない入れ歯を持ち寄って募金しましょう」ではありません。以前作っていたけれども、異物感が強くて使わなくなった入れ歯を再利用しませんかというお話です。

入れ歯の形は「快適に使用できる」ことを目指して決めますが、それ以外にも「壊れにくい」「安定がよい」「痛くなりにくい」ことも重要な決め手になります。そのため、想像したよりも大きな入れ歯となってしまう、異物感のため慣れるのにご苦労されたことと思います。

いったん慣れてしまえばそれほど苦にならずに使用できます。しかし、どうしても慣れることができず、家のどこかにヒソリとひそんでいる入れ歯がありましたら、一度お持ちください。形を修正したり、部分的に金属に置き換えて、入れ歯自体を小ぢんまりさせれば、これまで使えなかった入れ歯をリサイクルすることができます。

入れ歯は残っている自分の歯を長持ちさせることにもつながります。お近くの歯科医院に相談してみてもいいでしょうか。



奥羽大学歯学部附属病院
総合歯科 講師 小林 康二

